



件名:リユース本 G(グループ) 開始の要旨とルール、実施スタートの時期について

【この取組み発足の理由】

- 新子安近辺には、図書館もなく、区の図書館は遠くて不便。オルトにあった本屋さんには廃業してしまい、いわゆる紙の本を入手するのが大変で、近くで唯一のドンキホーテ地下にある本屋は種類に限られる。でも、電子書籍には抵抗感があり、パソコンやスマホで見るのも無理。
 - 一方、年齢性別に関わらず、ボケ防止対策として、頭を使うために本を読むという事が求められているし、その本を買わずに無料で借りる事が出来ると家計的にも助かる。
- ➡と言う事で、事務局・発起人としては、たとえ規模が小さくても、公的な図書館に取って代わる町内会としてのサービスが、今回の新会館 OPEN を機に出来ないものか?と考えていました。

【本を読んだ後の処理と現実】・・・無駄になっている事多々

- 本は沢山読むが、何度か読んだ後は場所も喰うので、本を買取り業者などに持って行くが、二束三文か価値“0”と言うケースが大半で、本は死蔵化するか無駄に捨てられることが多い。
- 本を読みたいが、買えば高いし、以上の事情もあり、徐々に本を読まない人が増えている。

【無駄になるもの・死蔵なものをうまく使う】・・・SDGs観点から

- 社会の動きとして、買った物を無駄にしない社会が求められており、死蔵している本を再利用する事は資源の節約につながるし、経済的にも助かる。

【適用ルール】・・・以下で新会館にてスタート予定(基本的に営利目的でないのもので無料です)

「リユース本」とは、手元にある不要な本を新子安南部町内会内で再利用しようという活動です。会館に来て読みたい本を持ち帰ってもらい、手元にある本を持って来てもらって読みたい人に読んでもらう・・・、というかたちで不要な本を回転させて、有効利用することです。

- 1) 不特定多数の方は町内会館には勝手に入れないので、少なくとも町内会の会員である事を条件として、この趣旨に賛同していただいた方には、リユース本 G(グループ)のメンバーになってもらい、会館への入館をするための登録をしてもらいます(年齢不問・利用無料)。

➡スイカなどのカードを登録する事で、入館・退館記録を残してもらいます。お子さん連れの場合は親が登録して記録をもらいます。



左記の入館・退館の管理システムが会館玄関に設置しており、会館に出入りする時に記録します。Suica(JR)、PASMO(私鉄系)、WAON(イオン)、楽天 Edy、Nanaco(7-11)、Ferica 対応スマホ(おさいふケーサイ)などが使えます。

2) 会館内部に滞在して、本を読む事は出来ません。あくまでも読むのは自宅です。

➡ただし、リユース本のグループが何らかのクラブを結成し、独自で運営管理できるようになれば、図書館のように中で読めるようにする事も将来考えられます。この場合、公平性を期すために、グループ単位で設備維持費(主に電気代)の会費をいただく事になると思います。

3) 利用する本は運営事務局が最初にある程度の数を寄贈(文庫本・コミックなど 500~冊程度からスタート予定)しますので、まずこの本を回転させる事にして、その後自宅の本で読まなくなったものを寄贈してもらいます。(ただし、勝手に持ってきてもらうと本棚がパンクしますので、制限を設けます。また、寄贈してほしい本のジャンルを指定する事もあります)

➡本棚は2本使います(コミックで 445 冊収納X2 本)

4) リユース本の本棚には、利用ノートを置きますので、読みたい本を持出すときには、自主的にいつ・何を持って帰ったか記入します。なお、一度に 4 冊までの持帰り制限とします。持帰った時には、いつ戻したか記入します。氏名の明記は不要で特に利用期間の制限も設けません。

5) 利用中に紛失したり、汚したとしても、責任は問いません。

6) 持込み図書がある時は、そのまま本棚に置かず、運営事務局に連絡して渡してください。

持込みは、1 回につき 1 冊。シリーズ物は全巻揃っている事とします。

【貸出する予定の本について】…スペースに余裕ない場合は持込み禁止です!

- ・ 公序良俗に反するものは禁止です。
- ・ 基本的に文庫本もしくはコミック本サイズ(高さ:200mm以内)とします。これは本箱に収まるようにするために、入らないような物は持ち帰ってもらいます。(こちらでは廃棄できません)
- ・ ジャンルは小説・文芸:趣味/実用系・児童書・コミック(ある程度選定します)などです。
- ・ 週刊誌・月刊誌その他の雑誌などは持込み禁止です。

【お願い】

- ・ 児童書(絵本など:高さ注意)があつたら持ち込んでください。

【試験的運用日程について】…スケジュール変更はHPにてお知らせします。

I. 7 月 22 日(土曜日)より実施:午前 10 時から午後3時まで新会館は OPEN

II. その後、基本的に毎週土曜日の同じ時間帯に OPENします。ただし、開館・閉館はボランティアが行っていますので、突然の閉館が発生する事もありますからご承知ください。

III. 8 月以降、平日も開館することも検討中です。(平日も 1 回ないし 2 回 OPEN 目標ですが、ボランティア次第です)。試験運用がうまく行けば、年間を通して行います。

IV. 会館貸出し日と重なる場合はサービス停止か時間制限になります。(HPにて告知します)

【ボランティア募集】

- ・ 定期的に会館を土曜日以外で、上記時間帯中(午前 10 時~午後 3 時まで)に会館を継続的に OPEN してもらえ人を募集します。1 日でも良いし、複数日でも構いません。(限度ありますが、お昼の弁当代を補助します)
- ・ 申し込める資格:基本的に町内会費を納めている会員メンバーで、上記の趣旨に賛同して、この会のメンバーとして登録していただく事が条件です。
- ・ なお、開館中は、館内で何をしても自由です。(条件は応募されたときに説明します)
- ➡興味ある方は連絡をください。info@shinkoyasunambu.jp まで。(以上)